

上汽通用五菱は記録を更新し、インドネシアで駆動用バッテリーを生産する初の中国自動車企業となった

2024年12月31日、上汽通用五菱のインドネシア基地は歴史的な瞬間を迎えた—初のMAGIC BATTERYがラインオフに成功し、中国自動車ブランドが初めてインドネシアで駆動用バッテリーの現地化生産を実現した。

上汽通用五菱のインドネシアプロジェクトはわずか4.5カ月で生産開始を実現し、そのうちバッテリー生産ラインは15日間で設置調整を完了し、中国ブランドのインドネシア駆動用バッテリーの現地化生産をゼロから突破し、複数の新エネルギー車種に用いられる。

インドネシアは中国の自動車企業のアセアンでの配置の重点となり、インドネシア政府は税収優遇で投資を誘致した。BYD、広汽AION、シトロエン等のメーカーは工場建設を次々と約束し、輸入税の免除と15%のぜいたく品税の優遇を受け、政策は2025年初めから発効する

2024年の中国自動車輸出、過去最高を更新。本土ブランドの海外進出は加速

1月13日、中国税関総署が発表したデータによると、中国の自動車輸出規模は過去最高になり、年間累計で完成車とシャーシを641万台輸出し、前年同期比で23%増加した。輸出総額は1174億ドルを突破し、全国の輸出総額に占める割合は1.7%から3.3%に跳ね上がった。

輸出ランキングによると、奇瑞（114万台）、上汽（92万台）が1位と2位、長安（53.6万）、吉利（53.2万）、長城（45.3万）、BYD（43.3万）、北汽（27.4万）が続いた。このうちBYDの輸出は前年同期比で70%急増し、伸び率は業界でトップだった。

中国の新エネルギー自動車の輸出は驚くべき飛躍を遂げた：2021年には微々たる割合であったが、2024年には200万台の大台を突破し、3年間で「カーブ」での追い越し、を達成した。この爆発的な成長は、中国が世界の自動車輸出のNo1大国に登り詰めただけでなく、新エネルギー車を「Intelligent Manufacturing in China」の海外進出の新しい名刺にした。

奇瑞の技術が海外進出し、韓国企業と共同でグローバルモデルを開発

4月、奇瑞自動車と韓国KGMグループは蕪湖市の本部で中大型SUVの共同開発協定に調印し、双方の戦略的協力は新たな段階に入った。締結セレモニーには、奇瑞会長の尹同躍氏、国際社長の張貴兵氏、KGM会長の郭載善氏ら幹部が出席した。

戦略的協力協定に基づき、双方は奇瑞自動車のグローバル化技術プラットフォームを頼りに、新世代の中大型SUV製品ラインナップを共同で研究開発する。これは従来の燃料動力と新エネルギー車種を同時にカバーするもので、2026年に全面的な開発を実現する計画である。

奇瑞の販売台数は上昇を続け、そのグローバル戦略の成功を実証した。2024年、奇瑞は韓国KGMとプラットフォーム技術の授権協定を締結し、中国の自動車企業の技術輸出の手本となった。技術授権のほか、完成車の輸出と海外工場建設も中国ブランドの国際化の主要なルートである。

BYD 4隻目の自動車運搬船引き渡し

4月22日、中国の新エネルギー車をリードする企業であるBYDは江蘇省儀征で4隻目のRO-RO船BYD SHENZHEN号を引き渡された。

BYD船隊の4隻目のRO-RO船として、招商局工業グループ傘下の金陵船工場が建設を請け負い、全長219.9メートル、幅37.7メートル、16階デッキを備え、標準積載量は車9200台に達する、現在運用されている世界最大の自動車輸送船である。

“BYD SHENZHEN”号はBYDのグローバル化戦略を後押しする。この自動車専門輸送船は国際納品効率を著しく向上させ、輸送周期を短縮し、物流コストを最適化し、BYDの新エネルギー車が世界市場に迅速かつ安全に到着することを保証する。

ROX MOTORが中東戦略を発表、グローバル化を加速

ROX MOTORは中東、北アフリカ、中央アジア市場に戦略的な重点を置いている。ROX MOTORの差別化した海外配置の効果は大きい：4月にアラブ首長国連邦の50万元以上のハイエンドSUV市場で6%の市場シェアでトップ5に入り、サウジ市場は国産新エネルギー車の1日の注文記録を更新した。

ROX MOTORは2025年に中東と中央アジアの市場シェアの5%を占め、同時に欧米とアフリカ市場を開拓する計画だ。2026年には欧州の右ハンドル市場に参入し、東南アジア専用モデルを発売し、2030年までに中東、中央アジアの販売網を継続的に強化し、アメリカ州とアフリカ市場の開拓を深化させる。

ROX MOTORの海外進出の成功は、その差別化戦略に由来する。多くの中国車メーカーが東南アジアを中心に行っているのとは異なり、ROX MOTORは中東、北アフリカ、中央アジア市場をピンポイントでロックオンし、レンジエクステンダー方式技術の優位性を利用して豪華SUVのニッチな分野に切り込み、同時に現地の製品認証を迅速に取得し、市場開拓のために基礎を築いた。

1-4月の自動車輸出は横ばい

4月の中国の自動車輸出は依然として安定した発展傾向を維持し、単月の輸出量は51.7万台に達した。1-4月の累計輸出は193.7万台で、前年同期比6%増だった。

PHEVの輸出は急速な伸びを続けている。4月、BEVの輸出台数は14万台（前月比+37%、前年比+57.5%）、PHEVの輸出台数は6万台（前月比+8.3%、前年比+140%）だった。1-4月の累計では、BEVの輸出は43万台（前年同期比+27.5%）、PHEVの輸出は21.2万台（同+150%）で、伸び率は顕著だった。

4月の税関統計速報によると、完成車の輸出は外部の関税効果の影響を受けておらず、HEVとPHEVの輸出の伸び率ははっきりとしていた。